

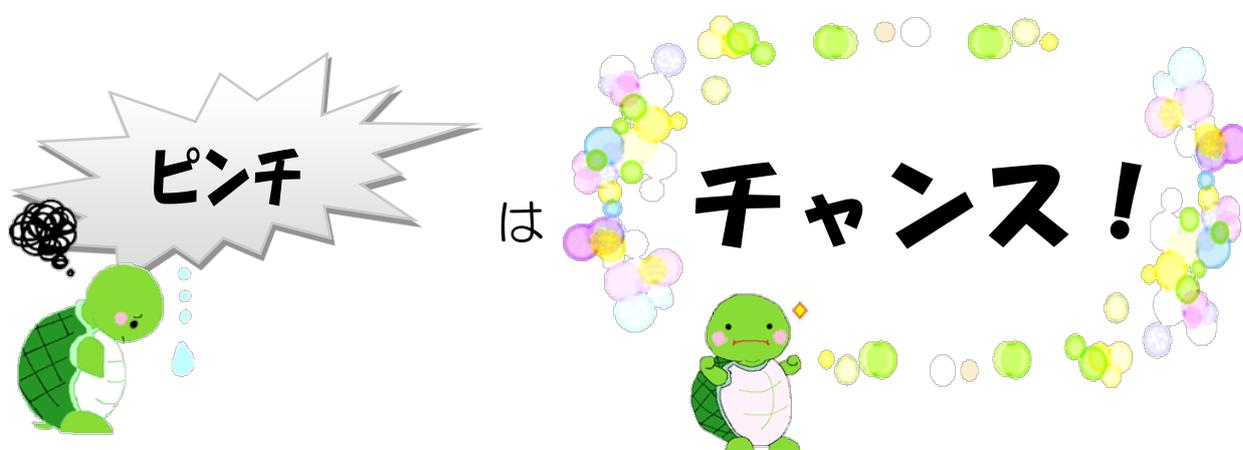


2学期は人間関係づくりの大きなチャンス！



日々の学校生活の中でも、関わり合う機会が多くなっていくのが2学期です。行事でも、「あの子は成長したな」「学級の団結力が高まったな」と子どもたちの顔が思い浮かぶのではないのでしょうか。

その一方で、子ども同士の間関係が密になる時期でもあり、必然的にトラブルや葛藤が生まれてくることになります。一見、トラブルや葛藤は子どもにとって「ピンチ」の状態で、「嫌だな」「出来れば起こってほしくないな」とマイナスのイメージに捉えがちです。しかし、ピンチに対応すること（乗り越える・立ち向かう・うまくやり過ごす等）で、成長することができます。



学級経営では、普段からトラブルにならないための配慮や安心して活動するためのルールの確認が必要です。この時期は、安心して活動できる集団の中でお互いに関わることも多くなり、真剣に取り組むからこそ意見がぶつかり合い、学級内の人間関係がギクシャクすることが起こりがちです。それは一見「トラブル」の形に見えますが、そのときこそ学級にとって絶好の「チャンス！」。子どもたちと一緒に今の状況を考えるいい機会になることでしょう。トラブルに対して、どう対応するか、それによって少しでも良い方向に向かう経験が、学級にとって大きな宝となります。

心がたくさん動いたときのあたたかな体験は、心に残り、子どもたちが頑張ろうとするときのエネルギーになります。2学期は、様々なことを経験した行事の後や、日々の活動の中で人間関係づくりの取組（自己理解、他者理解）を機会あるごとに取り入れてみてはいかがでしょうか。



クラスの友だちからもらったメッセージを見て、あたたかい気持ちになりました。

友だちから意外なところをほめられてすごく嬉しかったです。



→うら面に続く

おすすめ！ 人間関係づくりプログラム例

- ① 互いにエール
- ② エンジェルハート



おすすめは他にもたくさんあります！
学級経営ハンドブック（小学校）（中学校）、
あったかプログラムをご覧ください。



行事前に

① 互いにエール

【ねらい】 行事への意欲と学級の一体感を高める。

【準備物】 折り紙，箱

- 【やり方】
- ① 一人1枚折り紙の裏に行事に向けた励ましのメッセージを書く。
 - ② 書いたものを折って箱に入れる。
 - ③ 箱から一人1枚引く。
 - ④ メッセージを読み、お守りとする。



アレンジ例

- ・ 折り紙を開くタイミングを変える（行事の間は持ち続け、終わってから開いてみる等）
- ・ 折り紙を掲示する（開いてメッセージが見えるように、または、もう一度折って飾る）

学級経営ハンドブック（中学校）p107

行事後

に **あなたがいたおかげで**

をやるのもおすすめ！

一週間かけて

② エンジェルハート

【ねらい】 自分を応援してくれる人の存在を感じたり、友だちを支えたりするよさを体験する。

【準備物】 名簿を切ってくじにしたもの

- 【やり方】
- ① くじを引き、一週間応援する友だちを決定する。
 - ② 一週間その人に分からないように、さりげなく応援することを確認する。
 - ③ 一週間後、応援していた人を発表する。（発表せずに、「あの人かな」と想像するもよし）



あったかプログラム p122, 123

不安な人に…



「自分が話したことがない人や苦手な人が当たるかも」
→ そのときに友だちを理解するチャンス！チャレンジしてみてね。

「嫌や…」と言われそう
→ （くじを引く前に）リアクションなど、人に嫌な感情を与えないように気を付けてね。

「何もできないかもしれない」
→ 行動には至らなくても、何かできないか考えたり心で応援したりすることが大切！